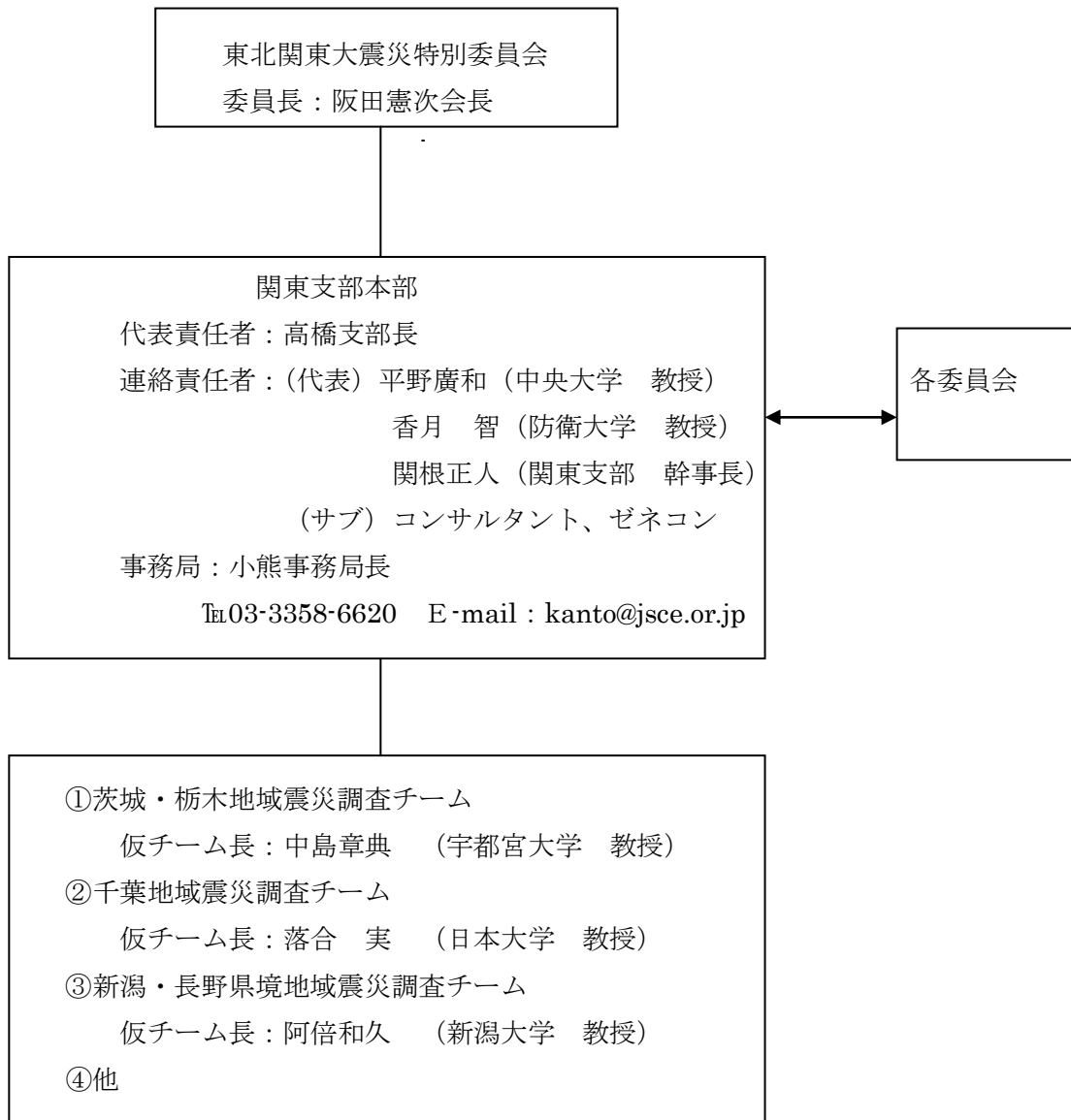


□関東支部の災害調査方針

1. 関東周辺に焦点を当てた調査とする。
2. 被災状況などに関する初期機動力による実態調査と総合的な学術調査の実施及び成果の取りまとめを行う。
3. 土木学会のガイドラインに従う（別添資料）。
4. 被災状況が激しい①茨城・栃木地域、②千葉地域、③新潟・長野県境地域の3地域を核とした調査チームを立ち上げる。調査方法については調査チーム個々の自主的活動を基本とする。その他の地域における被害状況によって別調査チームを編成する。
 - ①茨城・栃木地域震災調査チーム 仮チーム長：中島章典（宇都宮大学 教授）
 - ②千葉地域震災調査チーム 仮チーム長：落合 実（日本大学 教授）
 - ③新潟・長野県境地域震災調査チーム 仮チーム長：阿部和久（新潟大学 教授）各調査チームについては、下記の項目を本部に提出する。
 - ・チーム長名、責任者名、チーム委員名
 - ・チーム長及び責任者の役割
 - ・チーム以外の支部会員の連携
5. ガイドラインの注意事項を順守して、関東支部の名前で活動を行う。
6. 調査チームは、関東支部の本部へ調査についての報告を行う。
7. 土木学会本部との調整及び報告は関東支部の連絡責任者がまとめて行う。
 - 調査団の届け出
 - 活動成果に関する調整等
8. 調査に掛かる費用は、共通の経費（レンタカー借り上げ費、燃料費など）を除き原則個人負担とする。
9. 成果のとりまとめ
本部特別委員会のとりまとめの一部を担うことになるが、大部は未定。
各種研究委員会の調査報告と重複を避けて、関東（首都圏）における災害についてとりまとめる予定。

10. 組織体制（案）は表－1の通り。

表－1 組織体制（案）



- * 1. 調査においては、関東支部であることが分かる腕章か名札を付けてください。また、土木学会の会員証の持参をお願いします。
- 2. 調査結果については、写真などのデータを関東支部で専用サーバー（検討中）を設けますので送ってください。全体の取りまとめは本部で行う予定です。